

輝け！日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第10号
令和8年1月23日発行
文責 米原
笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい

今年もよろしくお願ひいたします



3学期になり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。本年もよろしくお願ひします。冬休み、ご家庭での過ごし方はそれぞれだったことと思いますが、家族でゆっくりと過ごしたり、お手伝いに励んだり、お正月ならではの遊びを楽しんだりと、子どもたちにとって心温まる時間が多くあったのではないでしょうか。始業式の日、久しぶりに子どもたちの明るい表情に出会い、学校全体が再び活気に満ちたことを職員一同大変うれしく感じております。

お正月には、駅伝やサッカー、バスケットボール、バレーボールなど、さまざまなスポーツが放送されていました。選手たちは試合やレースの前に必ずスタートラインに立ち、気持ちを整えて競技に臨みます。3学期を迎えた子どもたちも、まさに新しいスタートラインに立っている時期です。まだ何も書かれていないノートの1ページ目のように、これから毎日をどのように積み重ねていくかは、一人ひとりの行動によって大きく変わっていきます。

スポーツ選手の姿からは、学校生活にもつながる大切な学びが見えてきます。ひとつは「あきらめない心」です。駅伝の選手が苦しくても最後まで走り抜くように、学習や運動においても「もう一度やってみよう」という気持ちが、子どもたちの成長を確かなものにしていきます。

次に「チームワーク」です。サッカー、バスケットボール、バレー等は、一人の力だけでは勝つことができません。仲間を信じ、声をかけ合い、力を合わせることで成果が生まれます。学校でも、友だちに声をかけたり、困っている人を助けたりする姿が、学校全体の温かい雰囲気をつくり出します。

そして「準備の大切さ」です。スポーツ選手が試合前に体や心の準備を整えるように、子どもたちも早寝早起き、忘れ物をしない、あいさつをするなど、日々の基本的な生活習慣が、学校生活をより良いものにしていきます。

3学期は一年のまとめであると同時に、次の学年への「0学期」とも言われる大切な時期です。短い期間ではありますが、子どもたちにとっては大きな節目となります。この学期に大切にしてほしいこととして、三つのお願ひを伝えました。ひとつは、**あいさつで学校を明るくすること**。「おはようございます」「ありがとうございます」といった言葉が、周囲の心を温かくします。次に、**自分のことを自分でがんばること**。宿題や持ち物、身の回りのことなど、少しずつできることを増やしていくことが大切です。そして、**友だちを大切にすること**。困っている友だちにそっと声をかけたり、うれしいことを一緒に喜んだりする優しさが、学校の力を高めていきます。



スポーツ選手がタスキをつないでいくように、これまでの努力を3学期につなげてほしいと願っています。そして学期の終わりに、「やってよかった」「がんばってよかった」と子どもたち自身が感じられる毎日を、学校全体でつくりていきたいと思います。本年も、子どもたちの笑顔と成長をしっかりと支えられるよう、職員一同力を尽くしてまいります。

ありがとうございます

本校の学校歯

科医を務められた多田歯科医院様が、昨年12月末で閉院されました。閉院に際し、多田先生から「これからも歯を大切に」という温かな思いを込めて、全児童へ歯ブラシと絵本を寄贈してくださいました。長きにわたり健診を通じて子どもたちに寄り添い、地域医療に尽力された先生に心より感謝申し上げます。贈り物を大切に活用し、今後も学校全体で健康づくりに励みます。

